

歴史を生かしたまちづくりセミナー+JIA 建築フォーラム
～旧横浜市庁舎の保全・活用から考える、街のサスティナビリティ～

歴史を生かしたまちづくりセミナー Vol.43

旧横浜市庁舎の歴史・文化的価値を探る！



7代目横浜市庁舎(撮影:横浜市都市整備局都市デザイン室)

本日は「歴史を生かしたまちづくりセミナー Vol.43 旧横浜市庁舎の歴史・文化的価値を探る！」にご参加頂きましてありがとうございます。

第43回目となる今回のテーマは「7代目横浜市庁舎」です。1959年から2020年6月28日までの約60年間、市役所として最も長く使われた7代目横浜市庁舎(旧市庁舎)。戦後に多くの作品を残し、全国的にも著名な建築家である村野藤吾により設計されたこの庁舎は、戦後復興期から現代までの激動の時代に市政の中心でした。

本日は、第1部は、設計者：村野藤吾や旧市庁舎のデザインについて知る講演を、そして第2部は、市庁舎としての役割を終えた今、旧市庁舎の歴史・文化的価値について皆様と一緒に探っていくトークセッションです。お楽しみ下さい。

日 時 令和2(2020)年12月5日(土) 開場 13:30 開会 14:00
第1部 講演 14:00～15:25
第2部 トークセッション 15:35～16:30

会 場 横浜市役所 1F 市民協働推進センター スペースA・B

主 催 公益社団法人横浜歴史資産調査会(ヨコハマヘリテイジ) / 横浜市 /
公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会(JIA 神奈川)

プログラム

開会(14:00)

(司会：公益社団法人横浜歴史資産調査会常務理事 米山淳一)

開会挨拶 公益社団法人横浜歴史資産調査会 副会長 吉田 鋼市

(第1部 講演 14:05～15:25)

講演① 「旧横浜市庁舎の設計者・村野藤吾の求めたもの」 (45分)

京都工芸繊維大学デザイン・建築学系教授 ^{まつくま ひろし} 松隈 洋 氏

(プロフィール)

1957年兵庫県生まれ。1980年京都大学工学部建築学科卒業、前川國男建築設計事務所入所。2000年京都工芸繊維大学助教授。2008年同教授、現在に至る。工学博士(東京大学)。専門は近代建築史、建築設計論。著書に、『建築の前夜 前川國男論』/2019年日本建築学会賞(論文)受賞、『ル・コルビュジエから遠く離れて』、『近代建築を記憶する』、『坂倉準三とはだれか』、『残すべき建築』、『建築家・前川國男の仕事』(共編著)、『建築家大高正人の仕事』(共著)など。

講演② 「旧横浜市庁舎の建築概要」 (20分)

横浜国立大学名誉教授・公益社団法人横浜市歴史資産調査会副会長

^{よしだ こういち} 吉田 鋼市 氏

(プロフィール)

1947年兵庫県生まれ。横浜国立大学名誉教授、公益社団法人横浜歴史資産調査会副会長、横浜市歴史的景観保全委員。1970年横浜国立大学工学部建築学科卒業、1977年京都大学大学院建築学専攻博士課程単位取得退学。工学博士。横浜国立大学で30年以上にわたり教鞭を執り、同大学教授、同大学院教授を経て現在に至る。横浜赤レンガ倉庫や横浜生糸検査所をはじめ、横浜市内の近代建築を調査研究し、その歴史、文化的価値などを広く検証。横浜のみならず幅広い地域を対象に、建造物の保存と活用にも尽力。著書は『日本の初期モダニズム建築』(王国社)、『図説アール・デコ建築』(河出書房新社)、『日本の盛期モダニズム建築像』(王国社)ほか多数。

(休憩 15:25～15:35)

(第2部 トークセッション 15:35～16:30)

話題提供 「“公共建築”の姿を具現化した横浜市庁舎へのレクイエム」 (10分)

神奈川県工学部建築学科教授・公益社団法人横浜市歴史資産調査会社員

うちだ せいそう
内田 青蔵 氏

(プロフィール)

1953年秋田県生まれ。神奈川県教授。1975年神奈川県工学部建築学科卒業後、東京工業大学大学院博士課程に進み、1983年に満期退学。工学博士。近代日本建築史のうち、特に近代日本住宅史研究を専門とする。著作は、『あめりか屋商品住宅』（住まいの図書館出版局）、『日本の近代住宅』（鹿島出版会）、『同潤会に学べ』（王国社）等。建築保存にも関わることが多く、「スクラップ・アンド・ビルド」に代えて「キープ・アンド・チェンジ」（建物は使い続け、時には所有者や機能を変えながら使い続けることをめざそう）を提唱している。東京都の豊島区や文京区などとともに、神奈川県文化財審議委員を務める。

トークセッション 「旧横浜市庁舎の歴史・文化的価値を探る！」 (45分)

登壇者：松隈 洋 (京都工芸繊維大学建築学専攻教授)

吉田鋼市 (横浜国立大学名誉教授・公益社団法人横浜市歴史資産調査会副会長)

コーディネーター

内田青蔵 (神奈川県工学部建築学科教授・

公益社団法人横浜市歴史資産調査会社員)

『村野藤吾展』のご案内

公益社団法人 日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会 (JIA 神奈川)

代表 小泉 雅生

閉会挨拶 横浜市都市整備局都市デザイン室長 梶山祐実

公益社団法人横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）のご案内

横浜市が他に先駆けて取り組んだ「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために、昭和63(1988)年11月に発足した「横浜市歴史的資産調査会」が当公益社団の前身です。

開港150周年を迎えた平成21(2009)年6月に一般社団法人となり、その後平成25(2013)年4月に内閣府認定の公益社団法人として新たにスタートしました。

当公益社団は、横浜市と二人三脚で「歴史を生かしたまちづくり」を推進し、横浜らしい景観の保全につとめ、市民・行政・専門家と連携しながら、横浜市を中心として、歴史的資産の保存・活用、普及・啓発に関する各種事業を実施しています。

また、内閣府認定の公益社団法人として、全国を対象として事業を展開しており、「シルクロードネットワーク協議会」や「日本鉄道保存協会」の運営にも携わっております。

今年度は、本日開催の「歴史を生かしたまちづくりセミナー」をはじめ、平成29(2017)年に当公益社団の第一号所有資産となった「野毛都橋商店街ビル」の保全管理と活用、去る11月28日に藤沢市で開催した「ヨコハマヘリテイジ・セミナー2020～旧モーガン邸の新たな船出～」と題したシンポジウムをはじめ、旧湘南電鉄（京急）瀬戸変電所の保存活用に向けた調査などを行っています。



野毛都橋商店街ビル外観



瀬戸変電所外観

ヨコハマヘリテイジ サポートクラブ会員募集中！

当公益社団の活動を支えて下さる会員を募集しています。本会の趣旨に賛同して下さる方であれば、どなたでもご入会頂けます。

入会をご希望される方は下記までご連絡をお願い申し上げます。

(個人会員年会費 3,000 円、団体会員年会費 30,000 円、賛助会員 1 口 50,000 円)

お問合せ先

公益社団法人横浜歴史資産調査会（ヨコハマヘリテイジ）
〒231-0012 横浜市中区相生町3丁目61 泰生ビル405号室
TEL/FAX 045-651-1730
Eメール yh-info@yokohama-heritage.or.jp